

動物科学館 情報



よくあるお問合せ



冬は寒いから
カゼひかない
ようにな!

今回は平成14年度1年間に受けた動物相談計(971件)の中から代表的なものを紹介します。

哺乳類 (262件)

- ◎ウサギ 43件 病気・人工飼育について
- ◎イヌ 17件

鳥類 (359件)

- ◎スズメ 57件 ヒナを保護した
- ◎ハト 62件 寄せ付けない方法

は虫類 (161件)

- ◎ミドリガメ 73件 病気・産卵について
- ◎リクガメ 14件 飼育方法

両生類 (48件)

- ◎カエル 13件 飼育方法・エサ
- ◎サンショウウオ 26件

魚類 (13件)

- ◎キンギョ 13件 病気

無脊椎動物 (127件)

- ◎カブトムシ 23件 幼虫・成虫の飼育方法
- ◎カマキリ 10件 エサ

A ことえ

→日頃から気をつけることは…

- 新鮮でバランスの良い食事と適度な運動を
- ケージの掃除をマメに規則正しい生活を!

→見つけてもケガがなかったら近くの東やしげみにもどしてあげてくださいね。

寄せ付けない方法

→餌付をしない!ベランダなどは整理整頓しておきハトが糞を作らないようにする。

→20~30年も生きるので、途中で捨てる事のないように!

→オタマジアシは金魚のエサで育ちますが、手・足が生えて陸に上がったら、動く虫しか食べないので捕ってきた所に放してきてね。

→その病気に合った薬を貰って早めに治療を!

→幼虫がサナギになる時に作る空洞は壊さないように!

- カビが生えたマットは、すぐ取り除いてね!

→カマキリは生きた昆虫しか食べないよ…!

主な動物相談のアドバイス

ウサギの飼育

- ウサギが何らかの理由で育児放棄した場合のみ人間が育ててあげます。
- 人工保育では保温に注意し、常に25度ぐらいを保ち、適度な湿度(約40~60%)も確保。
- 動物用のミルクにビタミン剤をませたものを一日数回欲しがるだけ与えてください。ミルクは39度に温めてスポットなどを使って吸わせてね。
- ウサギの病気にはカビによる皮膚炎、お腹を壊しての下痢が多く、ウサギは非常にキレイ好きなのでゲージの掃除はマメにしてください。又古いエサを食べたり、ストレスによる下痢もあります。

野鼠を見つけた時は…

見つけてもケガをしていない時は、温かいところで安静にして、元気になったら、発見した場所と同じような環境に放して仲間の元に返してあげましょう。



巡回監視の119番(巡回ホームページ)も見てね!

<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-kskk/choju/shobyo1.htm>

ハトで囁いているときは…

かわいいからといって餌付をしない!ハト避けには、ハト避けグッズ(ネットやキンキラテープ)を利用しましょう。



カメやウサギを飼育できなくなってしまった
引き取ってくれる窓口はありませんので、
飼う際は責任を持って飼いましょう!

恒例 1月から動物科学館で、わくわくクイズを実施します!!

今回のテーマは動物園の動物 その2

期間/1月1日(祝)~2月29日(日)

